

NY マーケットレポート (2016年11月9日)

NY 市場では、米大統領選に勝利したトランプ氏が、勝利演説で融和姿勢を示したことから、市場の懸念が和らいだ。また、選挙公約のインフラ投資の拡大や大規模減税に対する期待感から株価が大幅上昇となり、投資家のリスク回避の動きが後退したことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。そして、米金利先物市場が示唆する12月利上げの確率は、トランプ氏が勝利した時点では低下していたが、その後84%まで上昇したこともドル買いの要因となった。特に、ドル/円は105.90まで上昇し、7月27日以来の高値を付ける動きとなった。

2016年11月9日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	103.30	105.47	101.20
EUR/JPY	114.88	116.01	113.74
GBP/JPY	128.10	130.42	126.73
AUD/JPY	79.33	81.95	76.80
EUR/USD	1.1119	1.1300	1.0990

LONDON	高値	安値
USD/JPY	103.84	103.02
EUR/JPY	115.16	114.18
GBP/JPY	128.78	127.70
AUD/JPY	79.89	78.95
EUR/USD	1.1136	1.1023

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	105.86	105.90	103.68
EUR/JPY	115.51	115.82	114.13
GBP/JPY	131.53	131.72	128.28
AUD/JPY	81.02	81.13	79.56
NZD/JPY	77.41	77.92	75.70
EUR/USD	1.0916	1.1037	1.0908
AUD/USD	0.7656	0.7700	0.7620

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18589.69	+256.95
S&P500	2163.26	+23.70
NASDAQ	5251.07	+57.58
日経225 (CME)	17215	-95
トロント総合	14759.91	+103.07
ボルサ指数	47390.66	-1080.33
ボベスパ指数	63258.27	-899.41

11/10 経済指標スケジュール

08:50	【日本】10月マネースtockM3
08:50	【日本】9月機械受注
08:50	【日本】11月対内外証券投資
09:00	【オーストラリア】11月消費者インフレ期待
09:01	【英国】10月RICS住宅価格
09:30	【オーストラリア】9月投資貸付
09:30	【オーストラリア】9月住宅ローン約定件数
16:00	【ノルウェー】10月消費者物価指数
16:00	【ノルウェー】10月生産者物価指数
16:45	【フランス】9月製造業生産指数
16:45	【フランス】9月鉱工業生産
16:45	【フランス】3Q非農業部門雇用者
18:30	【南アフリカ】9月金生産量
18:30	【南アフリカ】9月鉱物生産量
20:00	【南アフリカ】9月製造業生産
22:30	【米国】新規失業保険申請件数
22:30	【米国】失業保険継続受給者数
22:30	【カナダ】9月新築住宅価格指数
04:00	【米国】10月財政収支

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1273.50	-1.00
NY 原油	45.27	+0.29
CME コーン	340.75	-13.50
CBOT 大豆	991.00	-20.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.890%	0.862%
3年債	1.114%	1.024%
5年債	1.471%	1.333%
7年債	1.819%	1.646%
10年債	2.057%	1.864%
30年債	2.846%	2.624%

ドイツ10年債	0.203%	0.188%
英国10年債	1.257%	1.237%

11/10 主要会議・講演・その他予定

- ・セントルイス連銀総裁 講演
- ・米30年債入札

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -1.2% (前回 -1.2%)

◀ MBA 住宅ローン申請指数 ▶

	11/4	10/28	10/28	10/14	10/7	前年同期
申請指数	-1.2	-1.2	-4.1	0.6	-6.0	17.6
購入	1.4	-0.4	-6.9	3.0	-2.6	10.5
借換え	-2.7	-1.6	-2.3	-0.8	-8.0	22.7
固定金利	-1.2	-1.4	-4.3	0.7	-5.6	20.3
変動金利	-0.7	3.5	-0.1	-0.1	-14.5	-20.5

◀ ポイント ▶

メキシコの通貨ペソが対ドルで急落し、一時過去最安値をつけた。米大統領選でメキシコへの強硬姿勢を打ち出してきたトランプ氏が勝利し、メキシコ経済の先行きに対する不安が強まったことが背景。



出所 : Bloomberg

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米卸売在庫 (前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 -0.1%)
 前回発表の-0.2%から-0.1%に修正

9月米卸売売上高 (前月比) 0.2% (予想 0.5%・前回 0.7%)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米卸売在庫》

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
在庫合計	0.1	-0.1	-0.1	0.3	0.2	0.7
耐久財	-0.4	0.1	0.3	-0.2	0.2	0.1
・自動車	-1.7	0.3	0.2	-0.1	-1.4	-0.8
・機械	-0.3	0.2	0.1	0.0	0.2	0.6
非耐久財	0.9	-0.4	-0.8	1.0	0.1	1.6
・医薬品	3.3	-1.3	-1.3	4.5	-3.8	2.2
・食料雑貨	-0.8	1.3	1.8	-0.5	-0.3	-1.1
売上合計	0.2	0.7	-0.6	1.7	0.7	0.8
耐久財	0.2	-0.6	-0.2	1.2	0.7	0.3
・自動車	1.4	1.6	0.0	-1.9	-1.9	2.1
・機械	-0.1	-2.7	-1.6	2.1	0.3	1.6
非耐久財	0.1	1.9	-1.0	2.2	0.8	1.2
・医薬品	0.7	1.2	-0.5	1.7	0.6	0.6
・食料雑貨	0.8	1.4	-1.4	0.5	0.0	-0.1

9月の米卸売在庫高は、前月比0.1%の5901億7600万ドルとなり、3ヵ月ぶりのプラスとなった。前年同月比では-0.1%。自動車や金属など耐久財が落ち込んだが、石油製品など非耐久財が大きく伸びた。

①耐久財が-0.4%となり、自動車が-1.7%と2013年9月以来の落ち込み、金属が-1.4%、木材は+0.9%、専門機器は+0.4%となった。

②非耐久財は+0.9%となり、医薬品が+3.3%、石油製品が+3.8%、衣料品は-1.8%となった。

9月の卸売売上高は、前月比+0.2%の4449億4500万ドルと2ヵ月連続の増加となった。前年同月比では+0.4%となった。

①耐久財は+0.2%、自動車が+1.4%、専門機器が+1.0%、家具は-0.4%、金属-0.6%となった。

②非耐久財は+0.1%となり、石油製品が+5.0%、医薬品が+0.7%、農産物は-12.0%、在庫高は売上高の1.33ヵ月分に相当し、前月から横ばいだった。

0:30

＜EIA 米週間在庫統計＞

原油在庫・・・243万バレル増加
 ガソリン在庫・・・284万バレル減少
 留出油在庫・・・195万バレル減少
 クッシング原油在庫・・・2.8万バレル増加

＜海外の話題＞

OECD（経済協力開発機構）が発表した9月の景気先行指数で、ブラジルやロシアなどの新興国に加えて中国やインドなどで成長が加速していることが示された。米国や日本および、フランスやイタリアなどのユーロ圏では安定成長が見込まれるという。OECDによると、短期的には英国も安定的に成長する見通したが、EU離脱をめぐるEUと英国の合意内容に対しては根強い不透明感がある模様。ドイツ、カナダでも成長は加速しているという。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、米大統領選でトランプ氏が勝利し、米経済の先行き不透明感から売りが先行した。その後は米国株の上昇を受けて、大幅高となった。



出所：Bloomberg

3 : 00

＜米財務省 10 年債入札＞

最高落札利回り・・・2.020%（前回 1.793%）
 最低落札利回り・・・1.850%（前回 1.650%）
 最高利回り落札比率・・・15.58%（前回 45.15%）
 応札倍率・・・2.22 倍（前回 2.53 倍）

3 : 55

＜ 要人発言 ＞

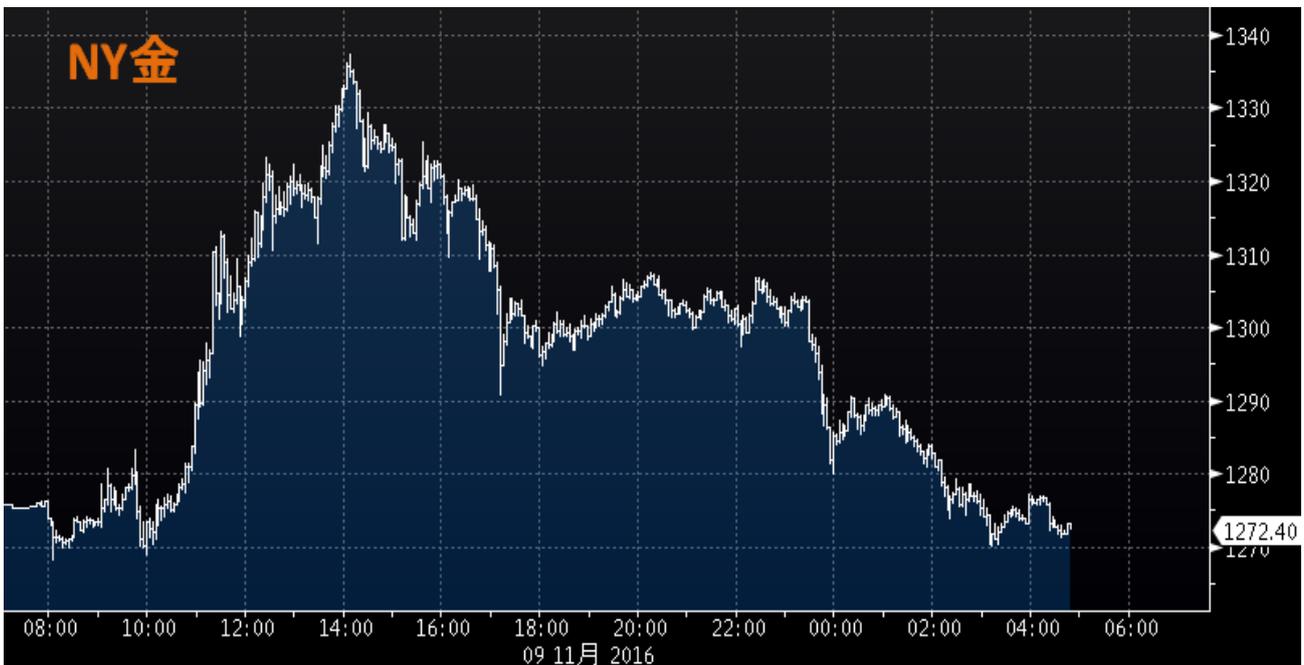
カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「米 GDP は 2%前後で成長へ」
- ・「FRB のバランスシート、徐々に縮小へ」
- ・「FOMC は財政政策を分析材料と認識している」
- ・「低金利と資産価格の間には関連性がある」
- ・「新たなバブルを発生させたくない」

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 1.00 ドル安の 1 オンス=1273.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米大統領選でトランプ氏が勝利したことを受けて米経済の先行き不透明感が広がり、比較的安全な資産とされる金を買う動きが先行した。しかし、その後は米国株の大幅上昇で売りが広がり、マイナスに転じた。また、ドルが主要通貨に対して上昇したことも圧迫要因となった。

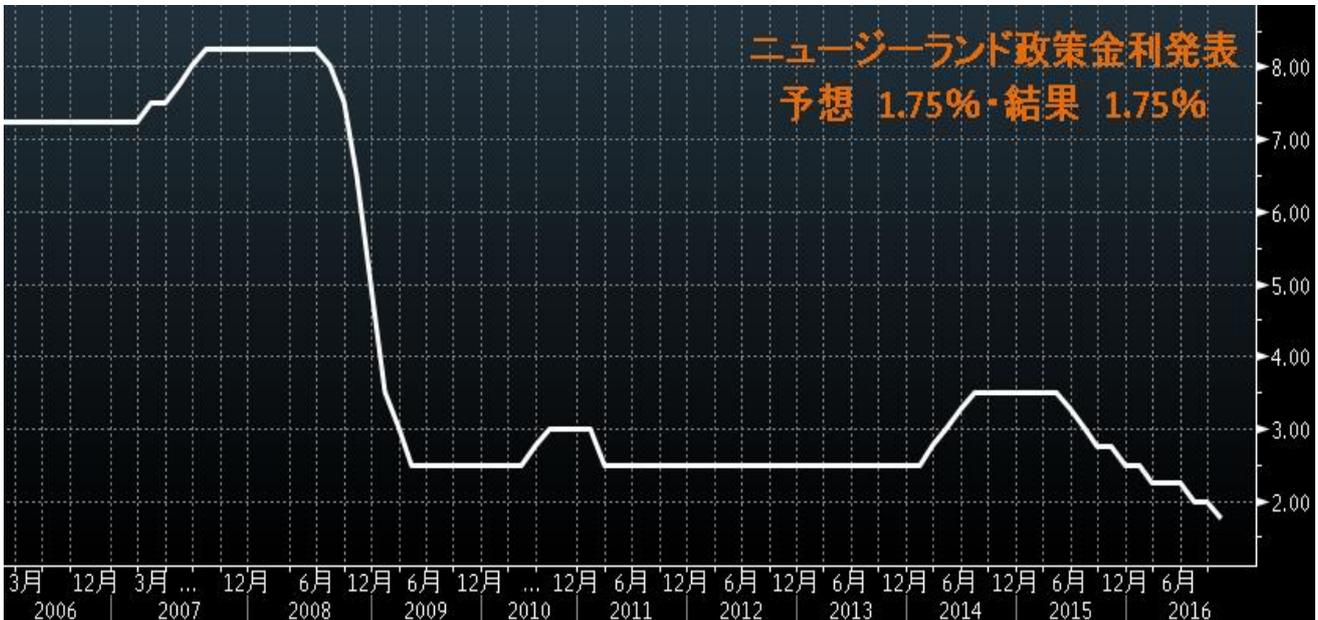


出所 : Bloomberg

5 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

ニュージーランド政策金利発表 1.75% (予想 1.75%・前回 2.00%)



出所 : Bloomberg

5 : 00

NZ 中銀声明

- ・「為替レートの下落が必要」
- ・「インフレ率は 2018 年 4Q に 2%に達すると予想」
- ・「政策設定でインフレ目標のために十分な成長と予想」



出所 : Net Dania

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.29 ドル高の 1 バレル=45.27 ドルで取引を終了した。

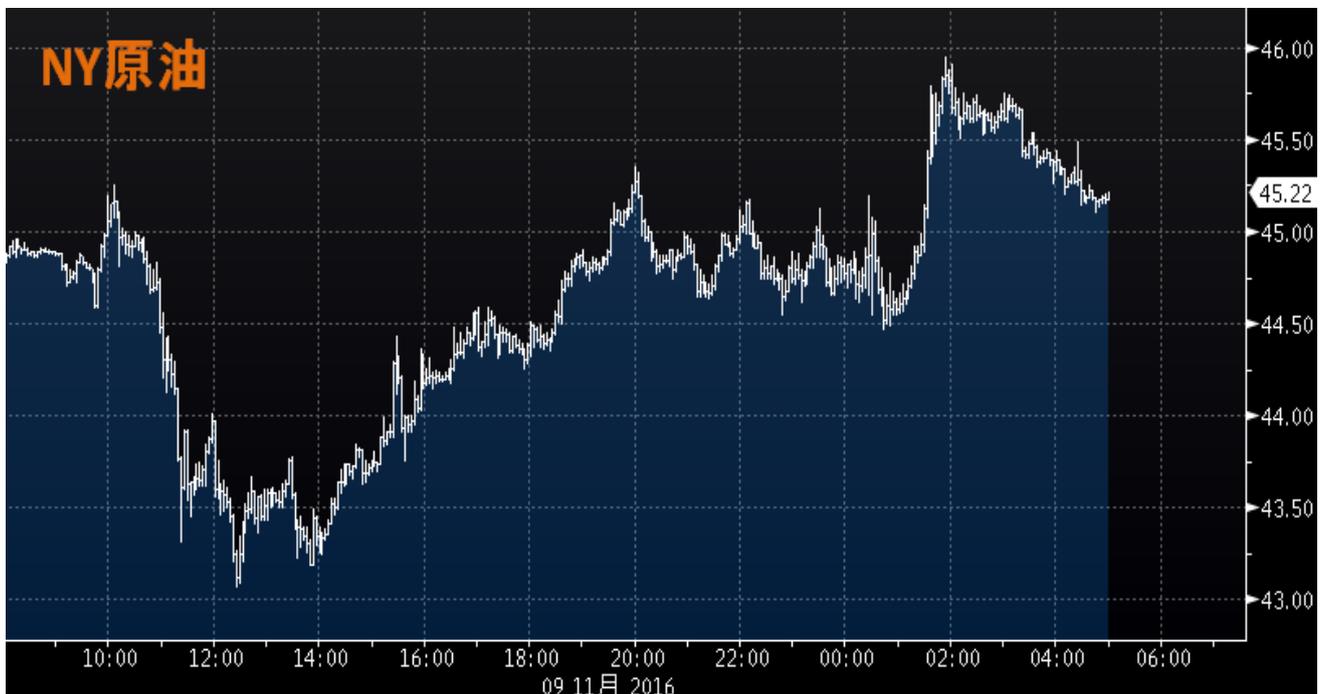
NY 原油は、米国株が大幅上昇したことで投資家心理が改善し、買いが優勢となった。また、米石油統計で原油在庫が市場の予想以上に増えたが、相場への影響は限定的だった。

◀ポイント▶

OPEC（石油輸出国機構）は、世界の石油需給に関する年次中長期見通しを発表し、2017-2021 年の OPEC の原油供給は需要に応じて微増するものの、日量 3300 万バレル台でおおむね横ばい推移すると予想した。OPEC は、9 月に原油価格の押し上げに向けた減産で合意、生産目標を日量 3250 万-3300 万バレルに設定し、各国の減産割り当てを 11 月 30 日の総会で決定する方針。

原油相場に関しては、OPEC 加盟国の代表的な油種で構成するバスケット価格ベースで、2021 年までバレル当たり年間 5 ドルずつ上昇すると想定。2021 年に 1 バレル=65 ドルの水準を予想した。

OPEC の原油生産見通しでは、2017 年は日量 3300 万バレル、2018 年は 3340 万バレル、2019-2021 年は 3370 万バレル、2025 年も 3380 万バレルとしている。OPEC 非加盟の産油国については、2018 年まで日量 4150 万-4160 万バレルで推移し、2019 年に 4200 万バレル、2021 年に 4250 万バレルに増加すると予想した。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、米大統領選で共和党のトランプ候補が勝利し、選挙公約でもある積極的なインフラ投資や、大型減税に対する期待感を受けて、主要株価は大幅高となった。ダウ平均株価は、序盤もみ合いの展開が続いたものの、終盤には一時 317 ドル高まで上昇する場面もあった。



《外国為替市場》

外国為替市場は、米大統領選で勝利したトランプ氏が勝利演説で融和姿勢を示したことで、先行き不安が後退し、ドル買いが先行した。また、大型減税などに対する期待感から株価が大幅上昇となり、リスク回避の動きが和らぎ、ドル円・クロス円は堅調な動きが続いた。



提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。